

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あべともこニュース

世界最高水準は嘘。原子力規制委は危険を知らずに再稼働を判断

◆汚染水基準超えを規制委は承知

11月29日の原子力問題調査特別委員会で、福島第一原発でタンクに貯めて増え続けている汚染水について質問しました。

更田豊志・原子力規制委員長は、それを「トリチウム水」と称して海洋放出するしかないと繰り返ししてきましたが、実際は85%がストロンチウムなど他の核種が放出基準を超えて残っていました。いつから知っていたのかの問いに、更田委員長は18年3月に報告を受けていたが、そのまますぐに海に流すわけではないので規制していないと釈明。

東電からも、現場視察時に「稀にフィルター交換が遅れた」との説明でしたが、事実誤認で、正しい情報共有ができていないと指摘しました。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選7回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



更田・原子力規制委員長



文挟東電副社長 月29日原子力特別委

東電の文挟副社長は反省を述べた上で、経産省とも相談して、「除去装置をもう一回通す、あるいは逆浸透膜装置をもう一回通す」「二次処理をしっかりと実施してまいりたい」と確約しました。未だに薄めて海洋放出をするのではないかとの懸念は強く、最低限の言質は取ましたが今後も監視が必要です。

◆防護施設の危険を規制委は知らず

29日は原発事故の際に避難弱者が一時避難する防護施設についても質問。施設への補助金交付の原則は「人の生命、身体に危険が及ぶおそれがない」ことで、伊方原発ではそうした施設の14件中12件が土砂や津波の警戒区域に立地しています。

従来から原発敷地内は原子力規制委員会、敷地外の避難は内閣府が担当するとしながら、避難計画の現実性は無きも同然でした。

おまけに、防護施設が危険区域にあることは防災会議には報告もされず、施設の抱えるリスクを、更田委員長も前任の委員長も知らずに再稼働が判断されたことを阿部知子の質問で初めて認めました。再稼働の判断の見直しを強く求めました。

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中!

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連
〒231-0012
横浜市中区相生町 4-69-4F
TEL 045-228-8591
FAX 045-228-8592